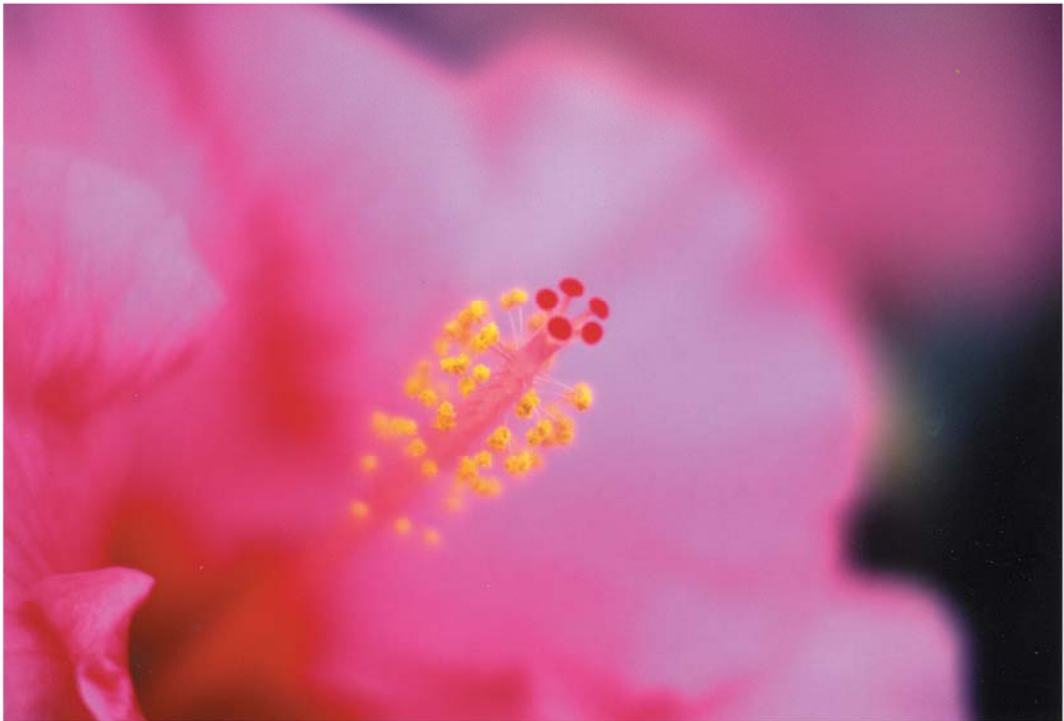


# 西多摩医師会報

創刊 昭和147年7月

第453号 平成22年9月



『ハイビスカス』 田村 啓彦

## 目 次

	頁		頁
1) 追悼		6) 西多摩地域糖尿病医療連携	
植田稔先生を偲んで	瀬戸岡俊一郎 … 2	検討会からのお知らせ	野本正嗣 … 9
巨星墜つ	河内泰彦 … 3	7) 広報だより	
2) 感染症だより	西多摩保健所 … 4	パワーストーン	渡邊哲哉 … 10
3) 専門医に学ぶ	松木奈央子 … 5	8) 理事会報告	広報部 … 11
4) 連載企画		9) 会員通知・医師会の動き	事務局 … 14
腹囲測定はむずかしい	奥村 充 … 7	10) お知らせ	事務局 … 15
5) 学術部インフォメーション	学術部 … 8	11) 表紙のことば	田村啓彦 … 16
「抗血栓療法」の最近の話題	村崎かがり … 8	12) あとがき	鹿児島武志 … 16

## 追悼

## 植田 稔先生を偲んで

今年3月、あきる野市医師会の例会で久しぶりに植田稔先生のご長男の宏樹先生と同席し、その時初めて先生のご容態が芳しくないとお話を聞きました。体の具合が悪くても絶対に弱音を吐かず、周囲に余計な心配を掛けたくないというお考えから他言されることのなかった先生でしたが、今回は余程お悪いのかと心配になり、いてもたってもいられず3月18日に先生が入院されている慶応大学病院へ伺いました。病室の扉を開けると、お元気な頃よりだいぶお痩せになった先生がベッドで寝ておられました。暫くすると人の気配に気付かれたか目を開けられ、よく来てくれたと体調が悪いにもかかわらず精一杯の笑顔を返され、必ず元気になって秋川に帰るからその時又会おうとおっしゃいました。その言葉をお聞きし少し安心して帰宅しましたが、4ヶ月ほど経って、先生の呼吸状態が悪いとお話を聞き7月11日に再度病室に伺いました。この時は誤飲性肺炎から気管内挿管されている状態で、食事はもちろん会話もできない状況でした。ただ意識ははっきりとしていて、耳元で「先生」と声を掛けると目をしっかりと開けて頷かれました。帰り際に、挿管が外れたら直ぐにお元気になるのでもう少しの辛抱ですよと

話し掛けながら手を握ると、小生を見ながら力強く握り返され、お元気な頃のととても優しい目をされていたのが強く印象に残っています。これが植田先生にお会いした最後でした。

植田先生は生前、東京都医師会の地域医療関連の委員会委員として数々の実績を上げられ、また地域にあっては秋川市（現あきる野市）医師会長として8年にわたり行政と医師会の架け橋となってお尽力されました。丁度小生が開業した昭和63年には先生が秋川市医師会の会長を務めておられ、毎月必ず開催される医師会に合わせて几帳面に議題を提示され、会員の先生方や行政を交えて長時間にわたり熱心に意見交換をなさっている姿がつい昨日のことのように思い出されます。植田先生の地域医療への貢献や医師会事業での数々の業績はここで著すには余りにも紙面が足りません。

先生の残した深い思いやりの精神はこれからも地域の人々や二人のご子息に受け継がれていくものと思います。先生のご冥福をお祈り申し上げます。

瀬戸岡医院

瀬戸岡俊一郎

## 追悼

## 巨星墜つ

辻先生が入院されたことをお聞きしたのは何年前だったか、それが奇跡的回復をされ、見事に復帰された時は、先生のもっていらっしゃる運と類まれなる体力と、生への飽くなき執念、ここで死んでたまるかという気力に圧倒され、感動した。

ここ西多摩地区で、脳外科医として救急医療に辣腕を20年以上も振るわれ、私の医院にも、他の病院で見放されたが、先生に命を救っていただいたという方に時々お会いする。

地区医師会では役員、監査、レクリエーション、介護保険審査会等職責を全うしながら脳神経外科学会等国際学会でも活躍された。

俺は群れない、諂わない、と言いながら、先輩の先生方を立て、他の先生たちの健康を気遣い、心配されていた。そのため、地区総会で意見の衝突がある時には、医師会活動を掻き乱す者は許さん、と本気で怒鳴りつけ、歯に衣着せない表現で、正しいとは何かと論じ続けられていた。曲がったことや、腹芸のできない先生だった。

介護保険審査会でも患者さんが、少しでも病状にあったサービスを受けられるようにと、口角泡を飛ばしながら、他の委員と激論したり、職員を叱り付けたり不備な意見書を書いた医師に唸り声を上げていた。

常に弱者の味方たらんという姿勢は、医療のみならず、政治、経済等多方面に

わたり、現状を憂い、将来を展望していた。それが、ご自身の健康面にも発揮していただければ良かったのにと、誰しもが思うが、それが人間というものなのだろうか。

亡くなられる寸前には、胸中どんな思いがさまよったのか、運命を達観し、受容し、従容とその時を迎えられたのだろうか、クワッと大きな眼を見開き、おれの番ではないと、叫んだのだろうか？

お母様の車椅子を押す先生のお姿は街の風物詩のようであったが、最愛のお母様を見送られ、後を追うように逝かれてしまわれた。人を愛することを全力で皆に教えていたのだろうか。

大きな愛をついに見出し、獲得いたしました。愛だけが勇気と生き抜く強さをあたえてくれます、と去年の賀状に力強く書かれていた。同時にそこには、地球文明の終焉は近い気がする、今にして思えば不吉な文言があった。

疾風怒涛のように人生を駆け抜けていった先生。

残された私たちの心には、大きな悲しみの穴が開いてしまった。

河内クリニック

河内 泰彦

## 感染症だより

### 〈全数報告〉

第 28 週 (7/12-7/18) から第 32 週 (8/9-8/15) の間に、管内医療機関より以下の報告がありました。  
 (二類感染症) 結核 5 件 (肺結核 3 件、肺外結核 1 件 (頸部リンパ節結核)、無症状病原体保有者 1 件)  
 (三類感染症) 腸管出血性大腸菌感染症 1 件 (患者 1 件 (O26-VT1))  
 (五類感染症) 麻しん 1 件 (修飾麻しん (検査診断例))

### 〈管内の定点からの報告〉

	28 週	29 週	30 週	31 週	32 週
	7.12 ~ 7.18	7.19 ~ 7.25	7.26 ~ 8.1	8.2 ~ 8.8	8.9 ~ 8.15
RS ウイルス感染症					
インフルエンザ					
咽頭結膜熱	6	3	4	4	
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎				6	1
感染性胃腸炎	12	16	9	11	5
水痘	1	4	2	3	2
手足口病	7	8	3	8	1
伝染性紅斑	1			2	
突発性発しん	3	3		4	
百日咳	2	2	3		2
ヘルパンギーナ	41	34	21	9	3
流行性耳下腺炎	8	1	8		2
不明発疹症		2	1		
MCLS	1				
急性出血性結膜炎					
流行性角結膜炎					
合 計	82	73	51	47	16

基幹定点報告対象疾病 (細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎 (オウム病を除く))

28 週に無菌性髄膜炎が 1 件報告されました。

32 週にマイコプラズマ肺炎が 2 件報告されました。

### 〈コメント〉

#### ① 手足口病は減少傾向が見られます。

東京都の定点当たり報告数は 4 週連続して減少しています。しかし過去 5 年平均の同時期と比較すると多い状況です。

32 週の時点での定点当たり報告数は、管内 0.20、東京都 1.84、全国 1.62 です。

#### ② 百日咳には引き続き注意が必要です。

東京都の定点当たり報告数は増加している週もありますが全体の傾向としては減少傾向にあります。しかし、暦年の累計報告数としては感染症法施行 (1999 年) 以来、最大となっています。

32 週の時点での定点当たり報告数は、管内 0.40、東京都 0.03、全国 0.03 です。

#### ③ ヘルパンギーナは減少傾向が見られます。

東京都の定点当たり報告数は 4 週連続して減少しています。しかし現在も警報状態が続いており注意が必要です。

32 週の時点での定点当たり報告数は、管内 0.60、東京都 1.98、全国 1.88 です。

#### ④ 無菌性髄膜炎の発生報告がありました。

東京都の定点当たり報告数は 2 週連続して増加しました。過去 5 年平均の同時期と比較して多い状況です。

32 週の時点での定点当たり報告数は、管内 0.00、東京都 0.21、全国 0.07 です。

# 専門医に学ぶ 第69回

## 問題

【症例】 76歳 男性

【主訴】 右眼 視力低下

【既往歴】 70歳 両白内障手術、73歳 悪性リンパ腫、  
74歳 右腎細胞癌で腎臓摘出

【現病歴】 平成21年11月6日、3日前から右眼の霧視、眼の奥の痛みを自覚し来院

【初診時所見】 視力：Vd = 0.2 × IOL (0.4 × S - 1.00 D)、

$$Vs = 0.9 \times IOL (1.2 \times C - 0.50D A65)$$

眼圧：ATd = 15 mmHg、ATs = 15 mmHg

前眼部：異常なし

中間透光体：IOL (人工水晶体)

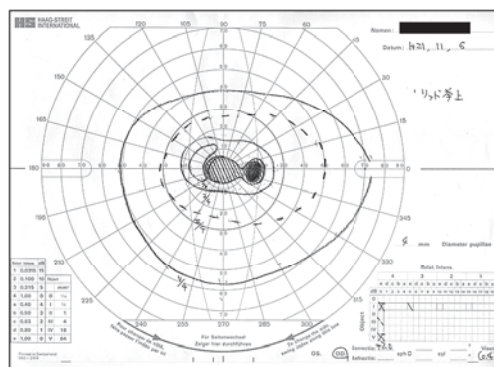
眼底：右眼 視神経乳頭の明らかな腫脹・発赤なし

右 相対的入力瞳孔反射異常 (RAPD) 陽性

眼球運動痛あり

中心フリッカー値 (CFF) 右 10Hz、左 41Hz

動的視野検査 右 中心暗点 (図1)、左 異常なし



**解説と経過**

公立阿伎留医療センター 眼科 医長 松木 奈央子

**解答 視神経炎**

視神経とは視神経乳頭部に始まり視交叉までの部分を指し、この部位に炎症、脱髄、感染などが生じたものが視神経炎である。視神経乳頭に腫脹のあるものを前部視神経炎、ないものを後部視神経炎と呼んでいる。典型的視神経炎の臨床的特徴として15-45歳の女性に好発、所見は急性、亜急性の片眼性の視力低下、眼球運動痛、視野欠損、RAPD陽性、視神経乳頭正常または腫脹などをきたす。一般に視神経炎の分類は原因不明の特発性視神経炎、多発性硬化症の視神経炎、そして視神経脊髄炎の視神経炎がある。

この症例では眼痛を伴う急激な視力低下をきたし、RAPD陽性で、初診時に施行した動的視野で中心暗点を認めたことから強く視神経炎が疑われた。鑑別としては原田病、網膜視神経炎、虚血性視神経症、うっ血乳頭などがあり年齢から虚血性視神経症も特に疑われたが眼窩部MRI T2で右視神経の高信号を認めかつ径も明らかに左右差があり視神経症の可能性は低いと思われた。また頭部MRIで脱髄巣やうっ血乳頭はみられず当院神経内科も受診し多発性硬化症や他の頭外内疾患は否定的だった。外来での精査をすすめていた11月13日に右眼視力が光覚弁(-)と視力低下が進行し初診時には明らかでなかった著明な視神経乳頭の腫脹を認めた(図2)。眼窩MRIの結果などから特発性の前部視神経炎と診断し治療目的で入院となった。また腹部リンパ節腫脹の増悪と腹部CTで転移性肝腫瘍を疑いがあり近日精密検査目的であったので消化器と併科での加療となった。



(図2 右眼眼底写真)

既往から鑑別としての悪性リンパ腫の眼窩内浸潤の可能性も否定できなかったが、急激な視力低下をきたしており視力回復の目的でステロイドパルス療法を開始した。ソルメドロール1000mg 3日間 点滴後、プレドニゾロン30mgの内服に切り替え以後減量していった。加療開始後視力は順調に改善し11月13日(プレドニゾロン10mg)にはVd = (1.2)まで回復した。ステロイドによる合併症もなかった。

近年、視神経脊髄炎の患者血清から自己抗体の一種であるアストロサイト細胞膜に対する抗アクアポリン4抗体が検出され、抗アクアポリン4抗体陽性群の視神経炎は再発を繰り返し最終視力予後が不良であることが判明している。この症例でも今後再発を繰り返すならば測定して脊髄炎の発症がないか対応することが望ましいと思われた。

**参考文献**

- 村山耕一郎：視神経の炎症. 眼科学：文光堂，東京，458-461，2002
- 溝田淳：視神経症. 眼科学：文光堂，東京，462-464，2002
- 中尾雄三：視神経炎アップデート“抗アクアポリン4抗体陽性視神経炎”，あたらしい眼科 26 (10)：1329～1335，2009
- 中馬秀樹：視神経炎アップデート，あたらしい眼科 24 (12)：1569～1576，2007
- 中尾雄三、吉良潤一：多発性硬化症・視神経脊髄炎と抗アクアポリン4抗体，あたらしい眼科 24 (12)：1299～1300，2009

## 連載企画



## 腹囲測定はむずかしい

羽村市 小作駅前クリニック 奥村 充

平成 20 年より特定健康診査が始まり、初めて健康診査に腹囲計測が導入されました。これは、腹囲と内臓脂肪量が比例するというデータからで、腹部 CT にて臍高レベルの内臓脂肪面積 100 cm<sup>2</sup>に相当する腹囲の平均値が男性で 85 cm、女性で 90 cm になることから腹囲の基準値が決まりました。(腹囲の基準値の男女差は女性のほうが皮下脂肪が多いため、女性の腹囲の基準値を甘く設定したそうです)

### 腹囲の測定

- ・両足をそろえて力を抜いて立ち、両腕は体の横に自然に下げた状態で、へその高さで測定する
- ・巻尺は下着の上からではなく腹部に直接あてる
- ・巻尺が水平に巻かれているかを確認し、普通の呼吸で息をはいた終わりに目盛りを読む

腹囲の計測は、「普通の呼吸で息をはいた終わりに巻尺の目盛りを読む」とのことですが、受診者が腹をへこませた場合とふくらませた場合では、その値は大きく変化してしまうように思います。

そこで私の腹囲を計測してみました。

(1) 空腹時の測定 普通の呼吸で息をはいた終わりが a cm

腹をふくらませた時が b cm

腹をへこませた時が c cm

腹をふくらませた時とへこませた時の差は  $b - c = 6.5 \text{ cm}$

普通の呼吸で息をはいた終わりと腹をへこませた時の差は

$$a - c = 2.0 \text{ cm}$$

(2) 満腹時の測定 普通の呼吸で息をはいた終わりが d cm

腹をふくらませた時が e cm

腹をへこませた時が f cm

腹をふくらませた時とへこませた時の差は  $e - f = 3.0 \text{ cm}$

普通の呼吸で息をはいた終わりと腹をへこませた時の差は

$$d - f = 1.5 \text{ cm}$$

普通の呼吸で息をはいた終わりの計測で、満腹時と空腹時の差は

$$d - a = 4.5 \text{ cm}$$

と大きな差がありました。

太っている人ではもっと大きな差が出るんじゃないかな？

BMI が 30 を越えている人はすごく大きな差になるんじゃないかな???

特定健康診査は、空腹で受ける人もいれば食後に受ける人もいます。

腹囲は、空腹時と食後では大きく変わってしまうかもしれません。

また、受診者の協力も大切で腹をへこませれば腹囲は小さく出てしまうし、逆に腹をふくらませれば腹囲は大きく測定されてしまいます。腹囲はいろいろな要因で変化しますので、正しい腹囲の評価ってむずかしいように思います。

また腹囲が90 cmの人でも、背が高く筋肉質の人と背が低く太っている人では内臓脂肪の量は同じでしょうか？腹囲の基準値（男性 85 cm 女性 90 cm）に目がいきがちですが、空腹時での計測等できるだけ同じ条件下で経過をみて、腹囲が大きくなっていけば内臓脂肪がふえているのではない、逆に腹囲が小さくなっていけば内臓脂肪が減っているのではないかという目安にするのがよいのではないかと思いますがいかがでしょうか？

**学術部****Information**

7月28日(水)、青梅市立総合病院南棟3階講堂に於いて開催された西多摩医師会学術講演会について報告します。東京女子医科大学循環器内科 村崎かがり先生が、「抗血栓療法の最近の話題」というテーマで講演されました。講演では、2009年の循環器疾患に対する抗凝固・抗血小板療法のガイドラインの改定のポイントである一次予防におけるアスピリンとEPA製剤の位置づけを中心にお話頂きました。講演の要旨は以下の通りです。

(学術部担当：江本 浩)

### 『抗血栓療法の最近の話題』

東京女子医科大学循環器内科 村崎 かがり

心筋梗塞や脳梗塞などの虚血性疾患は、発症部位は異なっても、その原因はアテローム性動脈硬化を基盤とした全身性の血栓性疾患として包括的に捉えることができる。

治療として中心的役割を果たす“抗凝固・抗血小板療法”であり、現在では血栓形成には血小板と凝固系が複雑に関与していることから“抗血栓療法”と呼んでいる。日本循環器病学会からは「循環器疾患における抗凝固・抗血小板療法のガイドライン2009」として治療指針が示されている。

今回の主な改訂のひとつに一次予防におけるアスピリンの位置付けの相対的低下に関する記載がある。アスピリンはこれまで多くの臨床試験により、有用性は認められている。しかしその有用性は二次予防で確立されたものであり、一次予防ではベネフィット（重篤な血管イベントの抑制）とリスク（重大な出血）とを考慮すると、治療による有益性は出血と相殺されて真のベネフィットが見られないというのが現時点での結論かと思われる。

ここでガイドライン改訂ポイントの一つである、我が国の新たなエビデンスの集積という趣旨に則り、高純度EPA製剤におけるJELIS試験の成績より『心血管疾患高リスク症例の一次予防』では「高リスクの脂質異常症におけるEPAの投与の考慮」をクラスIと推奨した。同試験は脂質異常症を対象とした試験であるが一次予防・二次予防とその有用性が示されている。EPA製剤は、脂質異常症治療薬として知られるが、抗血小板薬でもありアスピリンと同様にTXA2生成を抑制するがCOX阻害薬ではない。

動脈硬化に基づく心血管イベントに関しては、アスピリンを中心とする抗血小板療法が確立している。比較的リスクの一次予防では抗血小板療法による出血リスクと心血管イベント予防のベネフィットが非常に近い数字となっており、出血のリスクのきわめて低いEPAが期待される。



## 西多摩地域糖尿病医療連携検討会からのお知らせ

10月17日(月)の糖尿病セミナーのプログラムが決まりましたのでご案内いたします。  
多くの先生方のご出席をお願いいたします。

### 『一日で卒業、知って得する糖尿病診療のスキルアップセミナー』

日時：平成22年10月17日(日) 午前10時～午後4時

会場：青梅市立総合病院 南棟3階 講堂

#### ～ プログラム ～

〈開会の辞〉社団法人西多摩医師会 会長 横田 卓史

(10:00～12:00) 講演

講演①「患者さんも納得 高血糖・低血糖・糖尿病の診断 プロの説明見せます」

講師：調 進一郎先生(総合新川橋病院)

講演②「調べないとわからないぞ 調べたらびっくり 糖尿病合併症 種類と管理」

講師：住友 英孝先生(立川相互病院)

(12:00～13:00) ランチョンセミナー

「糖尿病の保険診療」講師：伊藤眞一先生(伊藤内科小児科クリニック)

(13:00～13:15) 運動療法ワンポイントアドバイス

小池日登美先生(立川相互病院トレーナー)

(13:15～14:00) 個別事例相談・個別よろず相談

担当：植木彬夫先生(東京医科大学八王子医療センター)、当日の講師の先生  
食事療法(NPOから管理栄養士)、運動療法(小池日登美先生)

(14:00～16:00) 講演

講演③「あすから大丈夫だ 最初の薬・次の薬」

糖尿病の治療薬あれこれ SU剤からインクレチンまで インスリンの話も少しだけ

講師：西田賢司先生(多摩総合医療センター)

講演④「必聴です、糖尿病にかかわるトラブル回避のためのQ&A」

講師：片山隆司先生(かたやま内科クリニック)

〈閉会の辞〉貴多岡 正史先生(公立昭和病院)

検討会からの今月のメッセージは心臓がターゲットです。糖尿病患者の心臓を守るために  
ご協力お願い致します。

### 『糖尿病医療連携検討会からの今月のメッセージ』

糖尿病患者の冠動脈疾患予防・再発抑制のために

- (1) LDL コレステロール 120mg/dl 未満(冠動脈疾患の既往者は100mg/dl 未満)を目標にスタチン製剤を投与しましょう。LDL コレステロール値を糖尿病手帳に記入して下さい。
- (2) 禁煙を指導しましょう。
- (3) 血圧を130mmHg/80mmHg 未満にコントロールしましょう。
- (4) HbA1c を6.5% 未満にコントロールしましょう。但しグリベンクラミド(オイグルコン・ダオニール)の使用はできるだけ控えて下さい。
- (5) 年1回は心電図をチェックし、ST部分やT波の異常があれば、胸部症状の有無にかかわらず、一度は心臓専門医に紹介しましょう。

## 広報だより



### パワーストーン

羽村市 ワタナベ整形外科 渡邊 哲哉

ここ数年パワーストーンを身につけている人が多く見られます。ここで言うパワーストーンとはダイヤモンド、サファイヤ、エメラルドなどの高価な宝石ではなく水晶、翡翠などお手頃価格の天然石です。プレスレットや携帯ストラップ、ネックレスなど老若男女問わず着けています。大型ショッピングセンターに行くところでも必ず1店舗はあります。パワーストーンって何？と思われる方に解説文を Wikipedia より引用します。

パワーストーン (Power stone) とは、宝石・貴石・半貴石のなかでもある種の特種な力が宿っていると考えられている石のこと。その石を身に付けるなどしていると良い結果が石からもたらされると愛好家から信じられている。科学的合理主義の立場からは、その特殊な力が存在することは証明されないため、疑似科学かオカルトのようなものとして考えられている。風水などの世界では、「この石を持っていることにより、こういう事象が起きやすくなる。」という統計の結果に基づいて各石の用途が定められているとされる。なおパワーストーンは和製英語である。英語圏では水晶を意味する Crystal、宝石一般を意味する Gemstone の中に、日本で「パワーストーン」と呼ばれる種類の石群は含まれる。

アクセサリーとしての一面もありますが、どちらかというとかしらの運氣上昇を期待して身につけるお守りという感じのようです。お店を覗いてみるととにかく石の種類が豊富であり、その石の一つ一つにいわゆる効能書き？が記してあります。効能としては恋愛、美容、健康、対人関係、仕事、金運など人が何かを願う事すべてが事細かく分かれていて、それに相対する石がいくつかが存在しているため自分で幾つかを組み合わせる作製するか、セット組みされているものを購入するという具合です。例えば水晶は生命力を活性化させ、細胞の再生力とともに免疫力を高め、体内に蓄積された毒素を排除するといわれています。金運 UP を期待するならルチルクォーツ、タイガーアイ等が有名です。実際それを読みながら色々石を見つめていると、本当にその願いが叶うような気分になってきてしまいます。とにかく豊富な石の中から自分が何の幸運を求めるかによるので、欲深いと中々店から出ることが出来なくなってしまいます。気を付けないといけないのは、その人が何を願っているのかが詳しい人には分かってしまうので、余りあからさまなのはどうかと思います。また、時々石も疲れるので水、太陽光、月光、塩、水晶などで浄化してパワーを復活させる必要があるらしいです。但し科学的根拠は無いのです。そんな自分も半信半疑でありながら気が付いたらパワーストーンを色々身につけ始めていました。毎日が厳しい環境におかれ、マイナスエネルギーを吸収してくれるパワーストーンは日頃の診療で溜まっていくストレスを吸収して、心を癒してくれているかもしれません。

# 理事会報告

★ Information

7月移動理事会

平成22年7月27日(火)

立川 インカメラ

[出席者：横田・田坂・鹿児島・蓼沼・野本・川間・江本・池谷・川口・近藤・宮城・岩尾・山川・松原]

## 【1】報告事項

### 1. 都医地区医師会長連絡協議会報告

伝達事項

1. 公益法人制度改革に伴う地区医師会実務者説明会の開催について
2. 日本医師会認定産業医制度における研修会の開催予定について
3. 平成22年度主治医研修事業（介護保険制度・障害者自立支援法）実施について
4. 平成22年度東京都在宅医療相互研修事業実施について
5. 平成21年度在宅難病患者訪問診療事業地区医師会別実施報告（第4四半期）について

地区医師会からの報告

1. 中央ブロック（当番：浅草医師会）
  - ①港区医師会の医政活動への取り組みについて
2. 城東ブロック（当番：葛飾区医師会）
3. 城西ブロック（当番：杉並区医師会）
4. 城南ブロック（当番：田園調布医師会）
  - ①第2回大田区医学会誌発行について
5. 城北ブロック（当番：板橋区医師会）
6. 多摩ブロック（当番：多摩市医師会）
  - ①新型インフルエンザ対策に関する国の対策について
7. 大学ブロック（当番：東京医科大学医師会）

出席者による意見交換

その他：労災保健における施設基準などの届出について

### 2. 各部報告

総務部 7/12 納涼の夕べの収支報告の承認について —— 承認 ——

7/27 「医療保健衛生協議会」報告

西多摩糖尿病医療連携検討会よりのお知らせ

開催場所 公立福生病院多目的ホール

○ 9/30（木）糖尿病治療セミナー「インスリン療法の実施」

柳田和弘先生 pm19:45 から 21:00

開催場所 青梅市立総合病院 講堂

○ 10/17（日）糖尿病セミナー「糖尿病の基礎から臨床までの系統講義」

講師はNPO法人西東京臨床糖尿病研究会より4名専門医派遣

am10:00 から pm4:00

西多摩脳卒中医療連携検討会からのお知らせ  
 ○ 11/24 (水) 「脳卒中医療連携症例検討会」 青梅市立総合病院

学術部 多摩医学会研究発表講演会の演題募集について 既報

産業医 7/24 日医産業医研修会報告 (青梅市立総合病院 司会 新井敏彦先生)  
 7/28 産業保健センター健康相談 (限 / みずほ観光 1 人、社員の有所見者について)  
 波多野元久先生担当

### 3. 地区医師会よりの報告 (各地区理事)

青梅市 平日準夜診療報告  
 福生市 納涼会開催  
 羽村市 8/1 から特定健診機関追加 (医社) 葵会 西多摩病院  
 あきる野市 7/20 例会  
 瑞穂町  
 日の出町

### その他報告

○ 地域福祉委員会 (進藤委員) 諮問事項について  
 「地域ケアにおける医療・介護の再構築」  
 平成 22 年度関東甲信越静学校医協議会 (水戸プラザホテル)

## 【2】報告承認事項

1. 入会会員について —— 承認 ——
2. 会報編集委員会委員の承認について  
 小作駅前クリニック 奥村充先生を委員に追加する —— 承認 ——

## 【3】協議事項

1. 「5 歳児健診事業－東京方式－」に関して (会長、池谷地域医療部長)
  - 西多摩地区医療機関 (小児科中心) コンセンサスの検討会 or 健診対策委員会 (仮称) の立ち上げについて
  - 5 歳児健診対策委員会 委員候補者について
2. 西多摩医師会主催の学術講演会講師報酬について (江本理事)  
 教授・准教授・講師・公立病院医師などにより講師報酬を見直す  
 メーカー協賛がある場合はその報酬の微調整を行う
3. その他  
 8 月から 12 月の医師会日程予定

### － 8 月 －

- 2 日 (月) 第 2 回新公益法人移行検討委員会  
 横河マニファクチャリング産業医契約交渉 am10:00
- 9 日 (月) 保険整備委員会
- 10 日 (火) 基金持込

- 11日(水) 法律相談
- 23日(月) 会報編集委員会
- 26日(木) 生涯教育担当理事連絡会(都医)

### － 9月 －

- 2日(木) 学術講演会(武田薬品)
- 8日(水) 保険整備委員会・法律相談
- 9日(木) 第2回糖尿病医療連携検討会  
西多摩三師会勉強会「肝臓病の知識」(青梅市立総合病院)
- 10日(金) 100周年記念誌編集委員会
- 14日(火) 定例理事会
- 17日(金) 都医地区医師会長連絡協議会・多摩ブロック会長副会長連絡協議会(パレスホテル立川)
- 28日(火) 定例理事会
- 30日(木) 糖尿病検討会「インシュリン療法の実践」(福生病院多目的ホール)  
講師:柳田和弘先生

### － 10月 －

- 8日(金) 保険整備委員会
- 12日(火) 定例理事会
- 13日(水) 法律相談
- 15日(金) 都医地区医師会長連絡協議会
- 16日(土) 北多摩医師会創立100周年記念式典・祝賀会(パレスホテル立川)
- 17日(日) 糖尿病医療連携検討会「糖尿病セミナー」青梅市立総合病院講堂(講師 NPO法人西東京臨床糖尿病研究会) am10:00～pm16:00
- 19日(火) 青梅市呼吸器勉強会
- 20日(水) 西多摩心臓病研究会
- 23日(土) 第86回多摩医学会講演会(フォレストイン昭和館)
- 26日(火) 定例理事会
- 27日(水) 学術講演会

### － 11月 －

- 4日(木) 学術講演会
- 8日(月) 保険整備委員会
- 9日(火) 定例理事会
- 10日(水) 法律相談
- 11日(木) 第3回糖尿病医療連携検討会
- 13日(土) 秋川市民フォーラム
- 17日(水) 青梅心電図勉強会
- 19日(金) 都医地区医師会長連絡協議会
- 20日(土) 多摩地区医師会懇話会(京王プラザ)
- 22日(月) 定例理事会
- 24日(水) 脳卒中医療連携症例検討会(青梅市立総合病院)

# お知らせ

## 事務局より お知らせ

平成22年10月(9月診療分)の

保険請求書類提出

**10月8日(金)**

— 正午迄です —

## 法律相談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禧八先生による法律相談を毎月第2水曜日午後2時より実施しておりますのでお気軽にご相談ください。

- ◎相談日 9月は8日(水)  
10月は13日(水)の予定です。
- ◎場所 西多摩医師会館和室
- ◎内容 医療・土地・金銭貸借・親族・相続問題等民事・刑事に関するどのようなものでも結構です。
- ◎相談料 無料(但し相談を超える場合は別途)
- ◎申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。  
(注) 先生の都合で相談日を変更することもあります。

## 訃報

あきる野市平沢472  
秋川病院 院長

**植田 稔先生**

昭和5年12月29日生 享年79才

平成22年7月28日ご逝去されました。謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈りいたします。



## 訃報

福生市本町53  
辻脳神経外科クリニック 院長

**辻 之英先生**

昭和19年10月7日生 享年65才

平成22年7月30日ご逝去されました。謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈りいたします。



## 表紙のことば



## 『ハイビスカス』

夏を代表する花の一つです。フラダンサーの髪飾りにはよく映えますが、大柄で立体的なため、絵にしにくい花

です。中望遠のソフトレンズに接写リングを付け、絞り開放で近づき、その可憐な花柱を撮ってみました。

田村啓彦

## あとがき



空を飛ぶということへの憧れに関して、あやうい記憶が、さらに薄れないうちに書き留めておかねばならない。昨日、テレビで空自の誇る「Blue Impulse」の特番を放映していた。複座のジェット機を縦横無尽に操る超職人技であるパイロット達の日常の訓練模様と3年間にわたり弟子を育ててきた飛行隊長の任務終了のさまを描いた大変興味深いノンフィクション番組であった。

古い話で恐縮であるが、20年以上前に米海軍の戦闘機乗りの映画「Top Gun」を覚えていらっしゃる方も多いと思うが、それを地で行くようなアクロバット飛行を惜しげもなく見せてもらった。なにせ飛行中の僚機との隔たりは最短1.5mと信じられない技である。スピードも時速1040km（秒速288m）に達する。

6機編成だから前方機のジェット気流を浴びようものならたちどころに失速してしまうし、第一接触したら一巻の終わりとなる。このところヘリコプターの樹木との接触による痛ましい事故が続発するだけに、高速で飛行し危険な距離空間を維持して、それも観客に喜んでもらおうと日夜技量を切磋琢磨する男たちはぎっしりと並ぶ神経の持ち主ではないだろう

うと感じた。飛行中の機体間の距離がうまく保てない未熟（まだ完璧ではないという意味）な相手でもお互いの信頼感をもっとも必要になるという。そういう彼らの猛訓練の模様をナレーションがたんたんと流されてゆく。

そして3年間の飛行隊長（先頭の一番機）としての任を解かれた二佐の言葉は興味深い。「3年間で楽しいことはありましたか？」……「いえ、楽しいことなど一度もありませんでした。何故なら遊びではないからです。」そういえば今は亡き先代の貴乃花親方が現役を引退するにあたり「稽古はつらく、楽しいと思ったことは一度もありません」と述べたことも意味合いは異なるが緊張感の連続であったという意味では似通っている。飛行中に楽しいなどとは感じる余裕はないはずである。

上空にきれいに煙幕を張り飛びゆくさまを観て、かつて自分も飛行士に憧れ航空大学を受験したことを思い出した。二次試験の不合格の理由は「落ち着きがなく適正に欠ける」というものであった。今でも思い当たる節は十分にあるから正鵠を得ていたということだろう。死と隣り合わせという状況とは全く異なるが、日常の外来診療も冷静さを欠くと時には大泣きをみるようだ。

鹿兒島武志

社団法人 西多摩医師会

平成22年9月1日発行

会長 横田卓史 〒198-0044 東京都青梅市西分町3-103 TEL 0428(23)2171・FAX 0428(24)1615

会報編集委員会 近藤 之暢

鹿兒島武志 江本 浩 鈴木 寿和 馬場 眞澄 菊池 孝  
桑子 行正 土田 大介 奥村 充 渡邊 哲哉

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428(22)3047・FAX 0428(22)9993



〈新社章コンセプト〉 たましのダイナミックに広がりゆく姿を固文字「T」に象徴しています。力強く上昇するカーブは、未来への確実な成長と発展・信頼性を表現しており、地域をつみこむやささと、柔軟かつ躍動的な印象を併せ持ったデザインです。たましの親近感と熱量を象徴するレッド、多摩の自然を象徴するブルーとグリーンを使用します。

# 価値創造合併 多摩に「たましん」 新生誕生。

〈たましん〉〈たいへい〉〈はちしん〉は平成18年1月10日合併し、「多摩信用金庫」としてスタートしました。これからも、「お客さまの幸せづくり」を使命に地域とともに歩んでまいります。

多摩信用金庫

<http://www.tamashin.jp>



信頼のヒューマンリレーション。  
医薬品ネットワークが結ぶ、健康への<sup>たが</sup>希い。

医薬品・試薬・医療機器の総合商社

 ● 東邦薬品株式会社

〒155-8655 東京都世田谷区代沢5-2-1 TEL.03(3419)7811 (大代表)



## 健康が 21世紀の扉を開く



命の輝きを見つめ続けて……  
**(株)武蔵臨床検査所**

食品と院内の環境を科学する  
**F・S サービス**

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢309-8  
TEL 042-964-2621 FAX 042-964-6659



東京厚生信用組合は  
福祉・医薬・医療・環境  
衛生の関連事業者の  
発展に寄与してまいります。

東京厚生信用組合は、  
医療関連事業を営む皆様を  
対象として、1953年に設立された  
協同組織の金融機関でございます。

既に各地区医師会で多数の会員の皆様に  
ご利用頂いております。これからも、  
会員の皆様に密着した金融機関として  
努力して参ります。

安心と信頼の  
パートナー

貴重なお時間を有効にお使い  
いただくため、訪問による相談  
業務を得意としております。

お問い合わせは：医師会様担当 落合まで  
●本部〈フリーダイヤル〉

ふくしほえんご

**0120-294805**

### ご融資

- クリニック運営資金
- 学術研究資金
- ご子息の教育資金
- 記念パーティー等の資金
- お車購入資金
- その他どんな事柄でも  
ご相談くださいませ。

都医ニュースでお馴染みの「東京厚生信用組合」です。



「人間・福祉・環境」にやさしい  
**東京厚生信用組合**

本 店 新宿区西新宿6-2-18/浅草支店 台東区駒形1-1-12  
小平支店 小平市美国町1-31-1/青梅支店 青梅市河辺町10-8-3